



# ～功績をたたえて～



**北海道林業グループ協議会 創立60周年記念行事表彰伝達式**

町内で森林の保全活動を行っている、くりやま女森の会が北海道林業グループ協議会長賞を受賞し、6月29日、役場第5会議室で伝達式が行われました。同協議会の創立60周年記念事業に伴い、林業分野の功労者・優良グループを表彰するもの。くりやま女森の会は、森林保全によって町民が森づくりに参加しやすい環境を整えようと、女性メンバーを中心に平成20年に結成され、年に数回、ハサンベツ里山などで森林の草刈りや枝打ちを行ってきました。

## 北海道林業グループ協議会長賞



空知総合振興局が主催する『令和3年度「少年の主張」空知地区大会』において、栗山中学校3年生の尾形芽生さんが優秀賞を受賞し、7月16日、総合福祉センター「しゃるる」で表彰式が行われました。本大会は全道の中学生を対象に行われ「自身の経験」「社会問題」など青少年の想いを自身の声で発表する場。尾形さんは、以前所属していたサッカーチームの仲間たちとの関わりから学んだ「演題…一歩踏み出す勇氣」を発表し、今回の受賞となりました。

## 令和3年度「少年の主張」空知地区大会優秀賞



## くりやまのおと

北海道にある人口約12,000人の町、栗山町の公式note。「栗山の音を、書き留める・積み重ねる・継ぎ合わせる、オウンドメディア」として、栗山のヒトやモノ、コトに焦点をあてた記事を掲載しています。

フォロー

## 栗山町公式note 「くりやまのおと」ははじめました

令和3年7月1日、広報紙や町のホームページでは拾いきれない情報を集める町公式note「くりやまのおと」を開設しました。

### どのようなコンセプトか

くりやまのおとは、栗山の音を「書き留める・積み重ねる・継ぎ合わせる」がコンセプトです。

栗山町には、活動をする人やイベントの舞台裏、町が進める事業など、日々の生活や活動の中で発せられる、さまざまな「音」があります。

これらは記録しにくいものではありますが、くりやまのおとでは、この音を「情報」として書き留め、栗山のリアルを表現していきます。

栗山町のホームページがアナログレコードでいう「A面」であれば、くりやまのおとは「B面」。広報紙やホームページなどに掲載しきれない情報を積み重ねる場としての役割を担います。

将来的には積み上がった情報をもとに、これからの栗山町のイ

メージを継ぎ合わせることでできるようなメディアとして貢献できるように、発信を続けていきます。

### どのような書き手か



**情報発信プランナー**  
望月 貴文 隊員  
編集・執筆担当



**観光交流 マーケター**  
おさ 長 広大 隊員  
撮影担当

### どのようなコンテンツか

まずは「くりやまのひと」。栗山町に生活し地域を支える人に焦点を当て、地域に住まう人が、どのような想いで生活をしているのかを深く記述することで、それぞ



オオムラサキ館の飼育スタッフ、川名いつみさんに焦点を当てた記事「くりやまのひと」(#3)

## note

noteは、書き手がクリエイターとして文章や画像、音声、動画を投稿して、読み手がコンテンツを楽しんで応援できるインターネットサイトです。



### 【問い合わせ】

町ブランド推進課  
観光・賑わい推進グループ  
☎ 7787

https://kuriyama-town.note.jp/  
会員登録は不要です。

れが持つ栗山町の魅力とは「何か」を可視化していきます。それ以外にも、栗山の生活で感じたことなどを整理したり、町職員から話を聞く企画や、実際に執筆者が参加したイベントの体験録など、ライブ感のある投稿も行います。

コンテンツも書き手も、少しずつ拡大していく予定です。

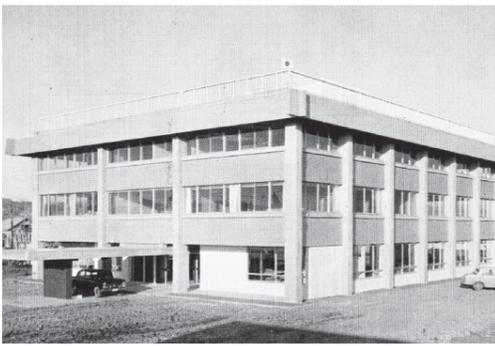
## こんにちは! 町史編さん室です

## 映像の記録から—町史資料の1コマ

1本のフィルムがあります。「新庁舎誕生」と題した映像で、役場が角田地区から現在地に移転した昭和38年に制作されたものです。この年、新旧庁舎の閉庁式が前後して行われ、その記録として撮影された内容でした。

角田村役場は明治33年に戸長役場として独立し、翌年に庁舎が開設されています。大正時代には寄棟造りのモダンな外観の庁舎に改修され、その後も角田地区に置かれていました。庁舎移転は「行政の中心」が栗山地区に移る大きな転機ともなっています。

明治期に開発当時の中心地だった角田に庁舎が置かれて以来、その歴史的背景もあって、昭和初期には村議会で役場の栗山移転が決議されるなど、度々論議されながら、35年間角田に置かれていました。この間の事態を先の「町史」では「開拓精神尊重派」と「商工業発展派」との確執対立と表現しています。



新築された役場庁舎 (昭和 38 年)

【問い合わせ先】  
町史編さん室  
☎ 77820